

# 名南病院の 身体にやさしく、痛みの少ない最新手術

！安全で精密な手術！

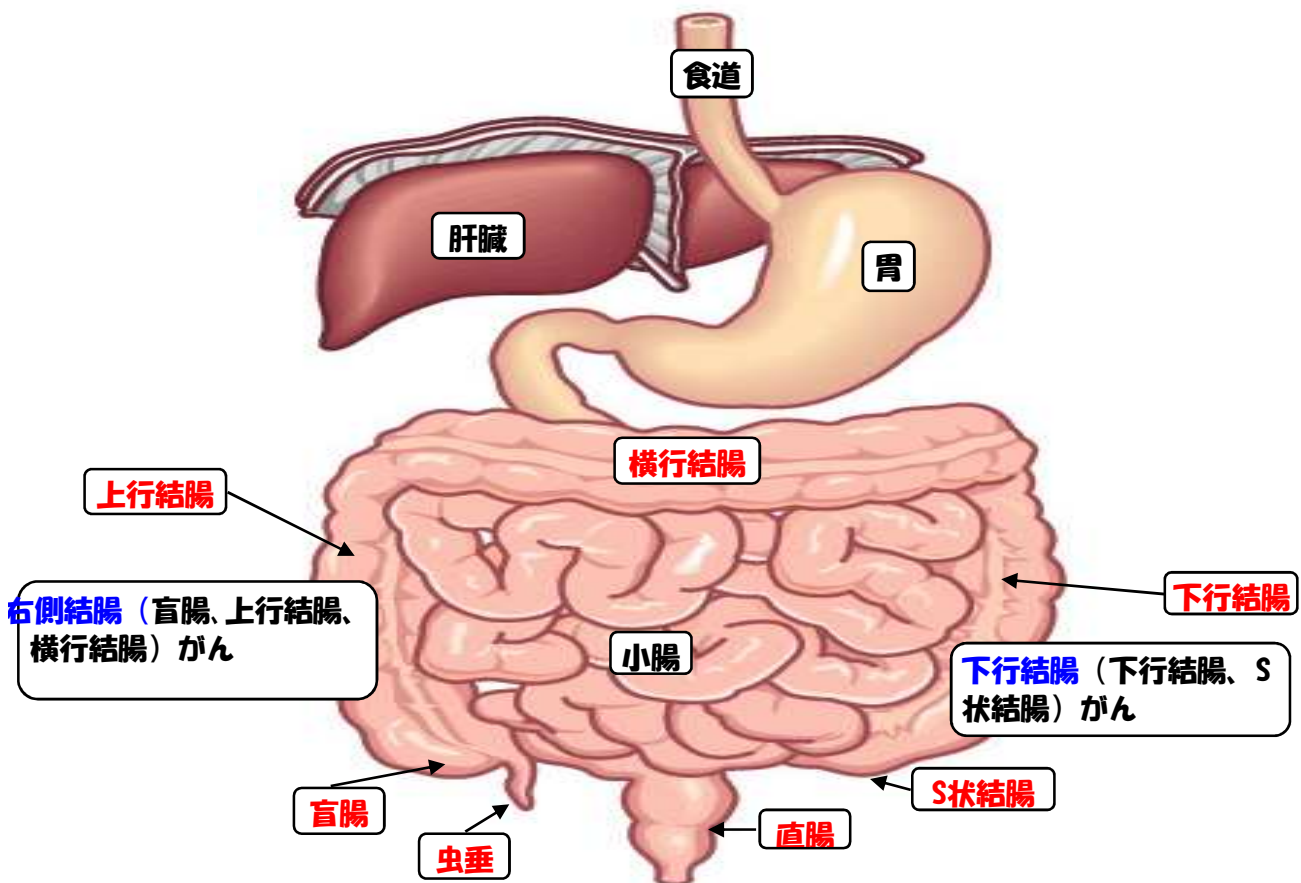
発行日：2012. 1.10  
発行：名南病院手術室  
No 15

## 疾患シリーズ： <sup>だいちょうがん</sup>大腸がん No.1

大腸は盲腸、虫垂、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸に分かれる。がんは大腸のどの場所でも発生し、発生部位により盲腸がん、虫垂がん、上行結腸がんなどと呼ばれる。

がんの出来やすい場所(好発部位)は直腸、S状結腸で両者で大腸癌の70%以上を占める。大腸がんは欧米に多く、我が国で結腸がんが増加しているのも、欧米型の動物性高脂肪食の摂取が原因であろうと考えられている。

直腸では固形状となった糞便が病変を刺激するため比較的早期に下血(血便、粘液便)をきたすことが多い。



### 右側結腸がん

がんが出来ても腸内容が「液状であり、腸管も左側に比べ太いので、閉塞をおこすことは少ない。出血があれば黒色便となることが多い。

### 左側結腸がん

腸内容(糞便)が固形であり、右側に比べ腸管も細いので、狭窄や閉塞(腸閉塞)をおこしやすい。

## 早期大腸がんと進行大腸がん

### 早期大腸がん

大腸がんは、がんの腸管壁への広がり(浸潤)が粘膜内あるいは粘膜下層にとどまるもの

### 進行大腸がん

筋層以下にまで進んだもの

浸潤が筋層にまで達すると、リンパ管や血管への転移の頻度が高くなる。

早期大腸がんは、表面の形状により、隆起型、表面型に分けられ、表面型はさらに表面隆起型、表面平坦型、表面陥凹型に細分される。早期の大腸の多くは隆起型のタイプで、大腸ポリープ(腺腫)のがん化がほとんどである。



次回は、大腸癌についてです！